

# 第 2 回第六次富士市総合計画審議会 議事録

令和 2 年 3 月 24 日(火) 午後 7 時 00 分

富士市役所本庁舎 10 階 全員協議会室

【第1回総合計画審議会におけるご意見に対する回答について】

事務局より資料1、資料2に基づき説明

<質疑なし>

【基本目標の修正案について】

事務局より資料3に基づき説明

<質疑内容>

石川会長 基本目標の修正について、説明をいただいた。表現上修正を加えたということだが、大事なところだと思っている。修正案について、質疑はあるか。

清委員 資料3の「つづく→つづける」の部分について、「快適な暮らしを続けられるまち」から「快適な暮らしが持続するまち」と変更しているが、修正前の案の方がよいと感じた。他の基本目標は「〇〇をどうする」となっている。「つづく→つづける」も修正前は「暮らしを」となっていた。修正前の方が、表現の統一がされていたと感じるがいかがか。

石川会長 事務局は説明をお願いします。

事務局 ご指摘の意見は内部の会議でもあった。「つづく」という言葉は、主体的ではないと感じる。「つづける」という意思を持った言葉の方がよいという案があり、修正をした。主語が人よりも暮らしとなっていることに対し、違和感があったのではないかと推測している。主体性をベースに修正案のとおり変更したが、いただいたご意見も含め「わかりやすさ」を考慮して、再検討する。

等委員 清委員の意見はもっともだと思う。基本目標の実現のために、誰が責任を持って行うのか。市かもしれないし我々かもしれない。ただし、「快適な暮らしが持続するまち」という言葉は他人本位と感ずるため、再検討をしていただきたい。

海野委員 基本目標の修正案のため、「めざす都市像」に基づいている。そのため、「めざす都市像」は変更ができない事を前提に、議論を進めていく。「輝く未来を拓くまち」という言葉はチャレンジスピリッツや開拓する印象を受け、好印象に感じる。しかし、基本目標の「持続する・継続する・継承する」という言葉は未来を切り拓くイメージがわきにくい目標と感じてしまう。第五次総合計画の7章は「市民とつくる新たなまち」を基本の目標に掲げられていた。このような、未来にメッセージが伝わるような目標に、どれかの目標を変更してほしい。

石川会長 今のことについては、どうか。

事務局 等委員、海野委員からいただいたご意見を考慮したい。未来志向という考え方はその通りだと思う。ご意見の要素を加えることが可能か、再検討する。

石川会長 今のご意見は丁寧に検討をお願いします。

芹澤委員 基本目標の修正案「つづく→つづける」について、修正案の方が「まちが主体となり動く」というイメージを受けた。そのような方向性で修正をする場合、「快適な暮らしを続けるまち」が流れを汲んだ言葉ではないか。検討をお願いしたい。

石川会長 少しの言葉の違いかもしれないが、検討をお願いしたい。  
他にはないか。では、事務局には今の意見の検討をお願いする。

【基本構想（案）全般について】

石川会長 ご意見があればいただきたい。

片山委員 資料2の反省は、第六次富士市総合計画にも盛り込まれるのか。

石川会長 事務局は説明をお願いする。

事務局 第五次富士市総合計画においては、施策にしっかりと取り組み指標が達成されていても、市民満足度が下がっているケースがあり、関連性がわかりづらい部分がある。第六次富士市総合計画の中では、施策の検討はもちろんであるが、市民満足度の設問の仕方や指標の設定の仕方についても、再検討する。

石川会長 他にご意見はあるか。

他に意見がないため、基本構想（案）について、議事を終了させていただく。

事務局 ご意見について再検討し、次回の審議会において、修正案のご提示をさせていただきます。